

【1】区の将来像

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち

【2】区の担う役割

- ◎新潟市のほぼ中心に位置し、都心部に近接した地理的条件を活かし、副都心機能や流通・商工業機能、快適な居住機能を担います。
- ◎優良農地を活かした都市近郊型農業による食料供給機能を担うとともに、多様な生産・販売による生産者と消費者の交流機能を担います。

【3】目指す区の姿

- ◎交通の利便性を活かし交流するまち
- ◎豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち
- ◎人とふれあう安心のまち
- ◎特色ある農産物を生産するまち

【4】まちづくりに向けた施策の方向

No.	目標（柱）	これまでの取り組みの検証結果（成果・課題）
①	交通の利便性を活かす 建設課 地域課	<p>取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路や市道など区内の公共交通網の整備を行った。 ・公共交通の利便性を向上させ、地域間交流の拡大を図るため、利用者ニーズに合わせた区バスの運行を図った。区民の暮らしに身近な交通手段である住民バスの支援を行った。 ・区内の主要交通地点である、亀田駅周辺の整備等を進め、交通の利便性の向上を図った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白・不便地域の解消を始めとした、公共交通体系の構築 ・二本木地区開発の準備組合は設立されているが、開発の基礎となる土地区画整理組合設立に至っていない状態である。土地利用や採算性など事業の確実性が高まる必要がある。 <p>今後何をしていたらよいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀田駅前通りの交通渋滞の緩和（特に土日） ・交通量に見合った道路や交差点の整備と安全な通学路の確保 ・県道新潟新津線の二本木地区の直線化 ・新潟中央環状道路の早期整備 ・区バス、住民バス等生活交通の充実による公共交通空白、不便地域の解消 ・料金体系の検討やバス待ち環境の向上等公共交通の利用促進に向けた取組 ・公共施設の利用状況に合わせた、公共交通の検討 ・各地域の特性に合わせた、住民バス運行補助ときめこまやかな交通体系の構築 ・交流の場としての亀田駅の活用（駅を利用する学生が学習をしたり、集える場所の設置等） ・隣接区と連携した開発の推進
②	憩いの空間づくり 建設課 区民生活課	<p>取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿賀野川、小阿賀野川等水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、親水機能の増進や、四季折々の草花を楽しむことのできるゆとりとうるおいのある河川公園や緑地、遊歩道やサイクリングロード等の整備を進めた。 ・環境にやさしい資源循環型社会を目指し、区民、事業者、行政の協働による効率的で適正なごみ収集体制に努めるとともに、ごみの減量化・再使用・再利用の取り組みを進めた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等の適正な配置等を考慮にいたった、今後の区内の整備について ・更なる、ごみの減量化・再使用・再利用の取り組み <p>今後何をしていたらよいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロードのさらなる環境整備をし健康で医療費の少ないまちづくりをめざす。 ・サイクリングロードの周知および事業（レクリエーション等）の実施、子ども自転車の安全指導。 ・各公園管理（樹木の剪定等）の支援について ・不良遊具の修理及び取替えの促進 ・親水公園栈橋の設置 ・区内の地区バランスを考えた都市公園の検討 ・子どもが近所でボール遊び等ができる公園・遊び場の提供 ・身近な地域で、住民自らが美化整備を呼び掛け、行動をおこすような仕掛けづくり。 ・ゴミの分別、再利用、再使用のさらなる徹底。わかりやすい周知 ・生ゴミのたい肥化（プラント化）推進 ・清掃センター近隣住民が安心して過ごすため、周辺環境の情報を継続的に提供
③	歴史・文化・スポーツの振興 地域課 亀田地区 公民館	<p>取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀田地区公民館（江南区文化会館内）の整備や横越地区公民館の整備を行い、生涯学習活動の支援を行った。 ・児童生徒がより良い環境で学習ができるよう、校舎等施設整備に努めた。 ・郷土の貴重な歴史・文化財等を後世に引き継ぐため、江南区郷土資料館（江南区文化会館内）を整備し、区内外に発信した。 ・屋内多目的運動場・武道場を整備し、生涯スポーツの振興を図った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備された各施設を区民の活動の拠点として活用を図り、さらに区内外に魅力を発信していく。 <p>今後何をしていたらよいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8区対抗のスポーツ大会の実施 ・高齢者に対する、レクリエーション的スポーツの振興と気軽に参加できる場所の提供 ・亀田地区公民館を基点とした、各公民館の交流イベント等開催 ・校庭内に安心して使用できる遊具の設置 ・子ども達の教育や江南区の歴史・文化を維持するために、予算の十分な配分をお願いしたい。 ・歴史、文化財を整備し区内外に発信 ・区内にある文化財（豪農住宅等）を市の施設として管理運営する。 ・江南区文化会館の各種イベント等発信 ・江南区文化会館で区内の児童・生徒の美術文化関係の展示を実施 ・各施設を周知するための、区バス、住民バスを利用した「区民施設めぐり」の実施

No.	目標(柱)	これまでの取り組みの検証結果(成果・課題)	
④	安心して暮らせるまちづくり 総務課 消防署 健康福祉課	取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 江南消防署移転新築や災害時情報伝達体制の確立を図り、防災機能の向上を図った。 犯罪の減少、交通事故削減対策を進めた。 「江南区ふれあい・ささえあいプラン」を推進し、区民と行政が連携して、安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めた。(江南区ふれあい・ささえあい交流事業・江南区民福祉大会開催等) 安心して子どもを産み育てられる行政サービスの拡充とともに、地域の中で子どもたちが健やかに育つまちづくりを進めた。(保育園改修工事・親子ふれあい応援事業等) 高齢者・障がい者への支援体制の充実を図った。(グループホーム整備の促進等) 区民とコミュニティ協議会や自治会と行政が協働し、豊かで安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域活動補助事業、コミ協運営助成事業やにいがた安心ささえ愛活動支援事業を行った。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 区民の生活様式、多様化するニーズに対応した、安心して暮らせる住みやすい環境づくり 「江南区ふれあい・ささえあいプラン」の更なる周知をすすめ、地域で支え合う福祉のまちづくり 行政と自治協議会や地域コミュニティ協議会の役割等の明確化 さらなる自治の深化に向けた自立した組織の強化
		今後何をしたいだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 自治・町内会長の防災意識の高揚(研修会の開催)と防災訓練の慣行、自主防災組織の完全設置 全中学生のレスキュー研修の義務化 学校と地域の緊密連携と情報の共有 大型ショッピングセンターや夜間営業店等の江南区への進出に対する、犯罪等の施策が必要 一人暮らしの実態を調査し(買い物・ゴミ出し・除雪)地域で出来ること等考えていく必要がある 災害時における避難誘導方法や伝達方法の明確化(指示命令系統・要援護者及び高齢者・弱者の避難方法) 避難場所における整理、役割分担等の細部明確化 区内の治水対策の推進 コミ協の有り方について(権限・支援職員・活動費・地域づくり協議会との整合性・自治会との連携・行政との協働・活動拠点の整備) 区・コミ協の地域特殊性を考慮した、一体活動 地域単位、町内単位での意見交換の場を設置 町内会の有り方について(小さい町内会の統合等) 「江南区ふれあい・ささえあいプラン」の区民と行政の連携方法 支え合うまちづくりに関して、地域と行政の役割の明確化 親子ふれあい応援事業のさらなる推進 ファミサポの依頼する人、提供する人両方の不安をなくすPR 青少年、中高年の自殺者減少の取組 諸福祉施設の内容について、よりわかりやすく気軽に相談できるような広報の工夫 地域を知り、地域を守る子ども達の育成
⑤	農水産物を通じた交流 産業振興課	取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市中央卸売市場などを利用した農水産物のイベントや農産物の直売所などにより、生産者と消費者との交流を促進するとともに、学校給食への地場産米の使用や減農薬減化学肥料米の生産拡大を図った。 区民生活に密着した商店街の活性化を推進するため、まちなか商業活性化計画を策定した。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 策定したまちなか商業活性化計画の実現に向け、地場産の農水産物を活用した事業の推進が課題
		今後何をしたいだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 中央卸売市場などと連携したイベント(規模を縮小してでも、複数回の実施)で、県外客も誘客できるような新たな取組の実施 村上市の例等を参考にした、空店舗対策 地場産の農作物の定期的な格安販売と販売場所の提供と宣伝強化。そのための農業・漁業・商業関係者と行政の協働の事業展開 農産物直売所の位置、営業時間等周知(マップ作成やホームページ紹介)と活性化 学校給食の地産・地消のさらなる推進と日本の食文化を継承していく。 不耕作地の作付支援(家庭菜園等の利用) 地元農産物を使用しての食育(四季折々のメニュー)と地域の人と子どもとの交流事業 高齢者、障害者等の買い物支援 「まちなか商業活性化計画」には、活性化に効果的な事業が多く盛り込まれているので、そのための推進体制の整備確立と財源確保についての検討・協議を推進 商店街のクーポンチラシを利用した集客事業(年数回)
⑥	区役所のあり方 総務課 地域課	取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する区民のニーズに対応した住民サービスに努め、ワンストップサービス等による区民の満足度のアップを図った。 さまざまな広報媒体を活用し区民へ情報を提供するとともに、情報の共有化による協働のまちづくりを進めた。また、区民の声を区政に反映させるため区長懇談会など広聴活動を開催した。 区民に身近な行政機関として、地域に密着した区役所機能の充実と強化を進め、職員の意識改革や能力の向上に努めた。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する区民のニーズに対応した住民サービスやワンストップサービス等による区民満足度のさらなる向上 区民に身近な行政機関として、地域に密着した区役所機能の充実と強化、職員の意識改革
		今後何をしたいだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、自分も同じ新潟市に住む住民だという意識をもって、市民と話し合い、より良い住民サービスに向けてがんばって欲しい。また、地域に密着できる職員の配置。 区長懇談会の継続 縦割り行政ではなく、横との連携ができる行政 今後も区民参加型の行政を。 亀田地区ばかりが中心とならず、区全体に目を向けて欲しい。 もっとわかりやすい区だよりとホームページでの更なる情報の提供、日々の更新の実施 区役所付近に金融機関がないが、高齢者等の利便性を図るため、ATMの設置